



2019年7月11日

各 位

四輪向けガソリンエンジン用 GPF 触媒を開発
～2022 年量産開始に向け設備立上げ準備～

三井金属（社長 西田計治）は、四輪向けガソリンエンジン用 GPF (Gasoline Particulate Filter) 触媒を開発しましたのでお知らせいたします。

当社触媒事業部は、二輪をはじめ四輪向け排ガス触媒や、同年 6 月 10 日にプレスリリースしたディーゼルエンジン用 DPF (Diesel Particulate Filter) 触媒を開発・製造販売しておりますが、この度ガソリンエンジン用 GPF 触媒を開発いたしました。

GPF 触媒は四輪向けガソリンエンジンから排出されるカーボン系パーティクルを捕集するもので、当事業部で長年開発してまいりました。当該触媒はカーボン系パーティクルの捕集性能に優れて、さらに高い浄化特性を有している点を高く評価され、2022 年から量産車へ採用されることになりました。

当社四輪向け排ガス触媒は現在 5 拠点で製造しておりますが、当該触媒の製造は日本（触媒事業部、埼玉県上尾市）と中国（三井金属（珠海）環境技術有限公司 [MKCZ]）にて予定しており、そのための量産準備を始めました。

当社のスローガンである「マテリアルの知恵を活かす」のもと、触媒活性メカニズムの解析技術、粉体制御技術、スラリー化技術、担持技術等を活かし、資源・環境へ配慮した商品づくりに邁進するとともに、お客様への安定した品質と十分な供給を確保してまいります。

以 上

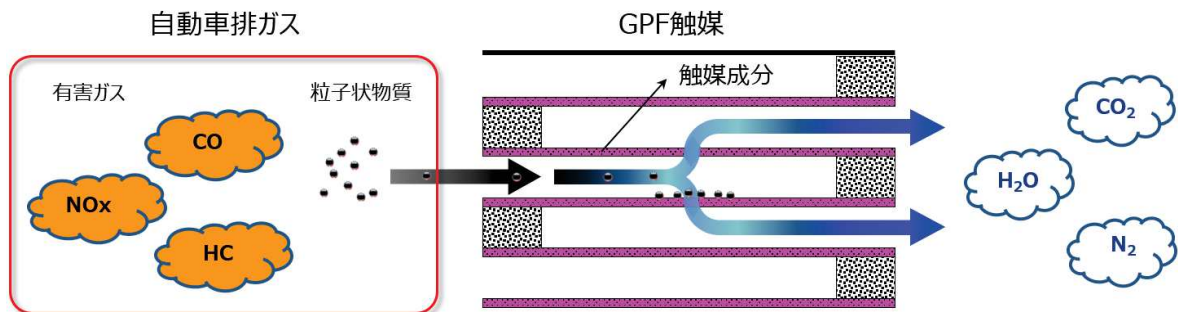
【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 広報部 TEL 03-5437-8028 FAX 03-5437-8029
Eメール PR@mitsui-kinzoku.com

(参考)

【GPF 触媒のメカニズム】

★自動車排ガス中の有害ガスおよび粒子状物質を分解・除去して無害化する触媒。



【中国の生産拠点】

三井金属（珠海）環境技術有限公司 [MKCZ]



GPF 触媒生産棟完成予想図